

そよかぜ 63

2026/2/1

社会福祉法人長須賀保育園

編集人：広報委員会

発行人：堀口貴宏



【特別企画】2年目の本音トーク。一步步、理想の自分へ。



塚越…私は0歳児担任だから、言葉のコミュニケーションが取れない分、まばたき一つ、指先の動き一つを見逃さないようにしてる。「お腹が空いたのかな?」「それとも、あっちの玩具が気になってるのかな?」って、心の中で会話をしながら代弁してあげると、子どもが「伝わった!」っていうパツと明るい顔を見せてくれる。その瞬間、この仕事を選んで本当に良かったなって思うよね。

●失敗した経験をぶっちゃけると…?

石川…正直、語り出したら止まらないくらいあるよ(笑)。特に言葉遣いや、ご家族への電話対応。自分では丁寧に接しているつもりでも、先輩から「その言い方だと誤解を招くかもしれないよ」って、声のトーンまで細かく指導していただいたことがあって。当時は少し凹んだけど、最近はやっとな「相手が今、何を求めているか」を考えて言葉を選ぶようになってきたかな。松田…自分は学童の請求業務で、数字の入力ミスをしてしまったことがあって……。保護者の方へ直接謝罪に行く時は、もう心臓が口から出そうなくらい緊張した。でも、上司がずっと隣にいてフォローしてくれて、誠意を持って向き合えばちゃんと伝わるんだって学んだよ。あの経験以来、確認作業は「これでもか!」っていうくらい指差し確認を徹底してる。

一同…「それは胃が痛くなるね……!」本

当にお疲れ様……!」

白石…俺は、テキパキと多角的に動く周りの先生と比べて、「自分はまだ一つのことしか見えていないな」って勝手に自己嫌悪に陥ることがよくあるんだ。でも最近では、人と比べるとなくなって「昨日の自分より、今日何ができたか」を考えるようにしてる。悔しさをバネにするのは得意だから、少しずつ自分にできることを増やしていきたい。

粕谷…1年目の頃の自分に言いたいのは、「一人で抱え込むな!」ってことかな(笑)。聞くタイミングを逃して、後で大きな問題になったらどうしようって不安で……。今は「迷ったら3分以内に聞く!」って自分ルールを作ってる。相談すると一瞬で解決することも多いし、何よりチームで動いている安心感が持てるから、仕事がすごく楽しくなったよ。

大兼…みんな最初は手探りだもんね。でも、その「分からない」という気持ちを共有できる今の環境に、本当に助けられているよね

●これからの目標・挑戦したいこと

小高…今ペアを組んでいる先生が、どんなにトラブルが起きても雰囲気は柔らかくて、そこにいるだけで場が整うような人なの。私もいつか、知識や技術だけでなく、存在そのもので子どもたちや同僚に安心感を与えられる保育士になりたいな。

2年目職員座談会

入職から2年目を迎えた若き職員。保育士、学童指導員、介護職と、それぞれの現場でひたむきに利用者や子どもたちと向き合ってきました。1年目は、右も左も分からず必死に駆け抜ける毎日。そんな「全力の1年間」を乗り越えた今だからこそ見えてきた、自身の成長や仕事のやりがい、そして大切にしている思いがあります。今回は職種の垣根を越えて集まったメンバーが、等身大の言葉で語る座談会の様子をお届けします。

●2年目になって感じる「変化」は?

林愛…1年目は毎日が必死すぎて、正直、記憶が途切れるくらい余裕がなかった。何を聞けばいいのかさえ分からない状態で……。でも2年目になって、先輩から「これどうすればいいですか?」って質問されるようになった時、自分の中で自然と答えが出てきたの。「あ、私、1年かけてちゃんと積み重ねてこれたんだな」って、教えることで逆に自分の成長を再確認できたのが嬉しかったかな。

松田…わかる。自分も学童の仕事が初めてだったから、1年目は何かトラブルがあるとすぐに「どうしよう!」って上司に泣きついていたし。でも2年目で現場のリーダー的な役割や責任ある業務を任せられるようになってからは、「まずは自分で判断してみる、その代わり結果に責任を持つ」という覚悟ができた。現場を支えるパートナーたちに的確な指示を出す難しさも感じているけど、その分、やりがいには1年目とは比べものにな

村松…先輩方の関わり方を見ると、魔法みたいだなって思うことがよくある。私はまだまだ引き出しが少ないから、もっともっと先輩たちの技を観察して、「自分のもの」にしていきたい。一つひとつの経験を大切に、いつか自分なりの保育スタイルを確立するのが目標!

石川…介護の現場も、人生の大先輩である利用者さんから学ぶことが本当に多い。もっと専門的な知識を深めたいから、研修にも積極的に参加して、資格取得にも挑戦したい。この仕事ですつと食べていくための「武器」を増やしていきたいと思う。

粕谷…苦手な事務作業やパソコン作業からも逃げずに、現場と事務の両面で頼られる存在になりたい。来年の今頃は「粕谷に任せれば安心だね」って言われるようになるのが目標かな。

塚越…「この先生なら、うちの子を安心して預けられる」って、保護者の方からも100%信頼してもらえる存在を、ここにいないみんなで切磋琢磨しながら目指していこうね。

●私たちの法人の「ここが好き!」

石川…デイサービスと保育園が同じ敷地にあって、ごく自然に「おじいちゃん、おばあちゃんと子どもたち」が交流できるのが、この法人の一番の魅力だよ。高齢者の方が子どもたちの声を聞いてパツと笑顔になる瞬間を見るたび、福祉の原点を見

ならないよ。

林祐…松田くん、遅くなったよね。僕も林愛さんと同じで、先輩に伝えていく中で「先輩たちが言っていたのはこういう意味だったのか」って、今さら気づくことがたくさんある(笑)。アウトプットすることで、自分の知識がようやく「知恵」に変わってきた実感があるよね。

一同…(深く頷きながら)「本当にそうだね、見える景色が変わったよね」

●仕事をする中で大切にしている事は?

大兼…私はやっぱり「心理的な安心感」かな。4月の頃、慣れない業務でミスをして落ち込んでいた時に、ペアの先輩が「全部任せから、思い切りやってみな。何かあった時は俺が全部責任を取ってやるから」って肩を叩いてくれたんだよね。その一言にどれだけ救われたか……。そのおかげで、失敗を怖がらずに挑戦できるようになった。だから私も、周りのスタッフのびのび動けるような声掛けを一番大切にしているんだ。

小高…それ、めちゃくちゃ心強いね! 最高の先輩。私は、保育の現場って大人が焦っていると、不思議と子どもたちにもそのピリピリが伝染しちゃうんだなって気づいたの。だから、どんなに忙しい行事前でも「まずは自分が深呼吸」して、子どもたちの前では常に穏やかでいることを意識してるかな。大人の余裕が、子どもたちの安心感に直結するんだなって日々実感してるよ。

た気がして、ここで働けて良かったなって思うよ。

粕谷…男性職員も多いし、みんな飾らずに、いい意味で「人間臭く」働いているよね。採用見学の時に感じた「風通しの良さ」や「明るい雰囲気」が、入職してから、2年経った今もずっと変わらない。この「飾らない、等身大の温かさ」が、僕らの自慢だよな!

■参加者 *Second year of service*

・石川流星	さとのデイサービス
・白石元起	長須賀保育園
・林愛結	長須賀保育園
・塚越かなめ	ゆりかご保育園
・小高ひまり	ゆりかご保育園
・大兼琴実	うみまち保育園
・松田俊	なのはなクラブ
・村松希美	さとの保育園
・粕谷陸翔	さとの保育園
・林祐作	さとの保育園





一緒に遊ぼう！ 異年齢児交流



ゆりかご保育園のお友達を招いて、長須賀保育園で交流会を行いました。

園にある月刊絵本を囲み、「これ、なあに？」と身を乗り出すゆりかご保育園のお友達。それに対し、長須賀保育園の年上のお友達がリードして動物の名前を教えるなど、頼もしい姿を見せてくれました。交流を通して、少しずつ新しい環境への親しみを深めていってほしいと願っています。

4月の入園まで残りわずか。新しい仲間が加わることを、みんな楽しみに待っています！

1年間ありがとう 世代間交流



さとの保育園の年中・年長組の子どもたちが、さとのデイサービスを訪問し、利用者様と一緒に「忘年会」を楽しみました。

1年を通して、歌のプレゼントや敬老会などで交流を深めてきた年中組。当日は、ビンゴ大会や趣向を凝らしたレクリエーション、そして心のこもったプレゼント交換など、会場は終始あたたかな笑顔に包まれました。

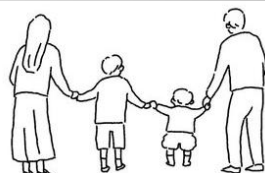
お年寄りとの触れ合いを通して、子どもたちは慈しみの心を育む貴重な経験を重ね、利用者様からも「元気をもらえた」「この1年が本当に楽しかった」と嬉しいお声をいただいています。



始まる！ こども誰でも通園制度



「こども誰でも通園制度」とは？



「こども誰でも通園制度」とは、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため創設された新たな通園制度です。

対象者は、保育所等に通っていない0歳6か月から満3歳までの子どもで、保護者の就労要件を問わず、月10時間まで保育所等に通うことができます。木更津市でも令和8年度からの事業開始に向けて準備が行われています。

利用するとどんな良いことがあるの？



こどもは、「家庭とは異なる経験」や「地域に初めて出て行き家族以外の人と関わる機会」を得ることができます。また、こどもに対する関わりや遊びなどについて、専門的な理解を持つ人がいる場での経験を通し、ものや人への興味や感性が広がり成長に繋がります。

保護者は、子育て支援などの様々な情報を知る機会が増え、「こども誰でも通園制度」以外の支援や制度を受けやすくなります。また、専門的な知識や技術を持つ人と関わることで、子育てへの不安感を解消することができます。



一時預かりと何が違うの？

一時預かり事業が「保護者の立場からの必要性」に対応するものであるのに対し、こども誰でも通園制度は、こどもの育ちを応援するという目的があります。

子育て支援センター イベント 2026/2,3月

さとの子育て支援センター

2月

10日 AM 外で遊ぼう
12日 バレンタインイベント
17,19日 季節の製作

3月

3日 ひなまつりイベント
12日 ホワイトデーイベント
17日 季節の製作

※外で遊ぼう～ぱくぱくタイム

(3月実施予定)

うみまち子育て支援センター

2月

2,3日 節分製作
6,16,24日 AM 園庭遊び
12,13日 クッキー作り

3月

2,3日 ひなまつり製作
5,13,24日 AM 園庭遊び
10,11日 季節の製作
17日 AM お散歩
26,27日 感触遊び

※ホームページ掲載の最新スケジュールをご確認ください。

茨城の味を楽しむ

郷土料理フェア



寒さが本格化し、温かいお料理が恋しい季節。今回は茨城の郷土料理「つけけんちん」をご用意しました。

全国で親しまれるけんちん汁ですが、茨城では温かなつけ汁として、そばやうどんを浸していただくのが特徴です。副菜にはレンコンのきんぴら、デザートにはマロンケーキを添えて、冬の味覚を堪能していただきました。

ちなみに美味しいレンコンは、穴が小さく皮にハリがあり、ずっしりと重いもの。ぜひ直売所などで探してみてくださいね！

